

◆【全国発信記事】気仙沼支部 ●遠洋マグロはえ縄漁船 第123勝栄丸 出船送り●

船長が想い人へプロポーズ的一幕、大いに盛り上がる中で出港

12月12日、気仙沼港出港岸壁で、遠洋マグロはえ縄漁船「第123勝栄丸」（439トン）の出船送りが行われた。

出船送りには本組合から、高橋健二水産局長と高橋雅幸東北地方支部長、組合政治参与の畠山和純宮城県議会議員も参列した。また、日本かつお・まぐろ漁業協同組合のマスコミキャラクターである「マグロウくん」も駆けつけ出船送りを盛り上げた。

本船を代表して菅野和郭漁労長は「新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、出港を迎えられたこと、関係者の協力に感謝したい。大漁を目指し、皆さまが笑顔になるように頑張りたい」と力強くあいさつをした。

この後、小柴孝之船長から見送りに来てくれた想い人へ「この航海が終わったら結婚しよう」と、サプライズ的なプロポーズ的一幕もあり、心配されていたコロナ禍中での出港だったが、大いに盛り上がりを見せ、微笑ましい見送りを受けての出港となった。

本船が岸壁を離れると見送りに来た乗組員の家族らが「行ってらっしゃい」「魚いっぱいもってきてね」と声を掛け福来旗や五色のテープで出港を見送った。

本船は、後継者の確保・育成をするため長期航海を取りやめ、年二航海を採用、今年の5月頃には清水港に帰港する予定となっている。

「海員だより」